

構造化抄録フォーム

番号	1-2-9
タイトル	Bone density assessments of dental implant sites: 1. Quantitative computed tomography.
著者名	Shahlaie M, Gantes B, Schulz E, Riggs M, Crigger M
雑誌 年;巻:頁	Int J Oral Maxillofac Implants. 2003 Mar-Apr;18(2):224-31.
目的	インプラント埋入部位における骨密度を CT による評価し、L&Z 分類と比較検討すること
研究デザイン	<input type="checkbox"/> meta-analysis <input type="checkbox"/> systematic review <input type="checkbox"/> DB-RCT <input type="checkbox"/> RCT <input type="checkbox"/> CCT <input type="checkbox"/> cohort study <input type="checkbox"/> case control study <input type="checkbox"/> case series <input type="checkbox"/> case report <input type="checkbox"/> others
研究施設	カリフォルニア ロマリンド大学 歯周病インプラント外科
対象患者	9 体のご遺体からの 3 6 個の標本からの 6 2 部位
介入・検査	通常の CT 検査からの MPR 画像からの CT 値計測 L&Z の骨質分類
評価項目	CT 値 L&Z の骨質分類型
統計手法	ANOVA, coefficients of correlation
結果	CT 値は、64～1265 に分布した。部位による平均 CT 値は、383～672 であった。 CT 値は L&Z の骨質分類型と相関はあったが、1 型は 2 例と少なく、2 型と 3 型では CT 値のとり範囲が広がった。4 型においては、CT 値が有意に低かった。 。
尤度比 Odds 比	
結論	インプラント前に CT による骨密度評価が必要である。
コメント	結果と結論に若干の矛盾を感じる。結局、CT 値のとり範囲が広すぎて、正確に検討できないのではないかと。MPR 画像の CT 値は信用できるのか？といった いどこの部位を ROI として CT 値を測定しているのか？疑問が残った。

記載者	佐野 司、村上秀明
-----	-----------